

この度、清華苑のオリジナルポストカードを作成しました。デザインは、イラストレーターの yamyam (ヤムヤム) さんにお願ひしました。とても温かい雰囲気でもキュート！見ているだけで笑顔になれるようなイラストを描いて頂きました。yamyam さん、素敵なイラストをありがとうございます。



ポストカードデザイン: yamyam (ヤムヤム)
イラストレーター。大阪府生まれ。2008年にイラストレーターとして独立。雑誌や書籍、フライヤーなどのイラストレーションのほか、店舗の壁画を描くなど、活動は多岐にわたる。「yamyam KIKAKU」という屋号でオリジナルグッズも制作。
[instagram/yamyamkikaku](https://www.instagram.com/yamyamkikaku)

表紙の写真 チューリップ 学名科/ユリ科 属名/チューリップ属

今回の表紙のお花は、老人保健施設 清華苑養力センターの中庭のガーデンで色鮮やかに咲いていたチューリップです。大樹の下で2つチューリップが小さな子供のようにとても可愛く感じました。チューリップ全般の花言葉は、「思いやり」だそうです。花を見ていると優しい気持ちになりますね(編集部)

は な 華

HanaHana

VOL. 7
2021

社会福祉法人
三幸福祉会 清華苑
広報誌「はな華」



はな華
HanaHana
社会福祉法人 三幸福祉会
清華苑 広報誌「はな華」
第7号
2021年6月15日発行

Pick Up!
介護と機器

いま、介護の現場が変わっています

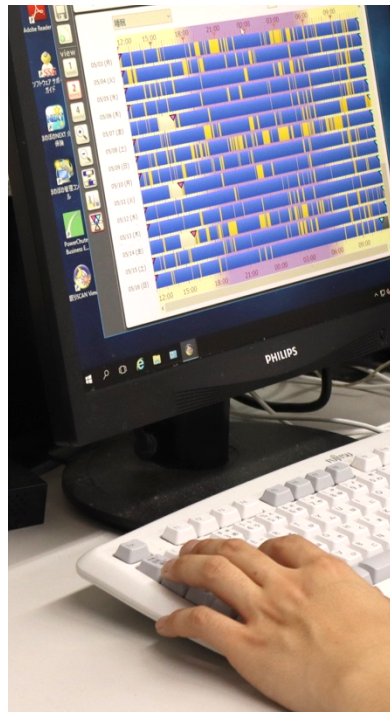
ICT推進委員長兼介護統括主任 吉田健介

近年、ICTやロボットの活用を様々な場面で目にするようになってきました。コロナ禍ということもあり、介護の現場でも急速に普及が加速しています。

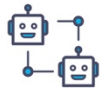
ご利用者の身体状況や行動を人の感覚のみに頼るのではなく、ICTやロボット等で状況を的確に把握し、

根拠をもってご利用者のケアに結び付けることを第一に考えています。業務の効率化の面では、職員がインカムを使用し、物理的に難しかった様々な場面で職員間コミュニケーションを図る事が可能になり、職員の余計な動きを減らす事でご利用者と職員の安心に繋がっています。

私達介護士がICTやロボットを上手く使いこなし、「私達にしかできないこと」「私達がやるべきこと」に集中する事は、ご利用者やご家族、働く職員達にとって、さらに安全で安心できる環境を構築していけると考えています。



眠りスキャン



特別養護老人ホーム清華苑と老人保健施設 清華苑養力センターでは「眠りスキャン」という福祉機器を導入しています。この機器をご利用者のベッドマットレスの下に設置すると、「ご利用者の「睡眠状態」「心拍数」「呼吸回数」を別室のモニター越しに確認する事が出来ます。」

従来は訪室してご利用者の状態観察や測定を行う必要がありましたが、サービスステーション内のモニターを通して観察する事が出来、緊急時にはアラーム機能が作動する事で異常

の早期発見に繋げることが可能となりました。「睡眠」「覚醒」「起き上がり」「離床」と、ご利用者の状態を細かくリアルタイムに観察が出来ることで、睡眠の妨げにならないように介助する時間を変更する事も可能です。ご利用者・職員の双方にとって大変有益な福祉機器となっています。

ご利用者の安全・安心を守る為、福祉機器の活用をより一層進めていきたいと思っています。
(老人保健施設 清華苑養力センター 介護主任 長田和真)

清華苑が導入しているICT機器をご紹介

ICT Information and Communication Technology 情報通信技術の略

インカム



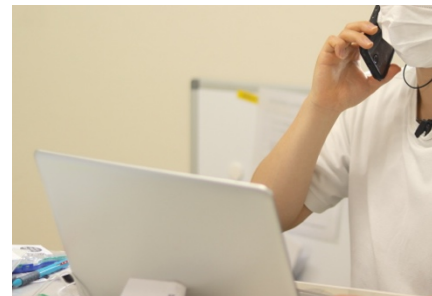
特別養護老人ホーム清華苑ではインカムの導入により他職員との連携が容易になりご利用者の生活の場としての環境が向上したと感じます。介護業務の中では、突発的に他職員の助けが必要となる場面が多々あります。これまでの、他の職員を声で呼ぶかフックを探すかしかありませんでしたが、インカムを使うことで、どこにいてもボタンひとつで他職員と会話をすることが出来ます。

時間の短縮がご利用者の安全確保

に繋がっている事を実感します。忙しかった時間帯にも余裕ができてご利用者にゆったりと過ごしていただけるようになりました。
インカムは、使っていくうちに非常に便利で手放せないアイテムとなりました。今後も積極的に活用し、ご利用者の生活を支えるため役立てていきたいです。
(特別養護老人ホーム 清華苑 介護福祉士 戸野祐希)



アシストスーツ装着体験会を開催しました。重い物を少しの力で持ち上げる事が出来ました。



電子カルテ。部署間での情報共有をスムーズに行う事が出来て、業務の効率化にも繋がりました。



眠りスキャン。ベッドマットレスの下に敷くと、睡眠状況などをモニターで確認する事が可能になりました。



介護リフト。ご利用者の移乗介助を安全安心に行う事が出来、職員の腰痛予防にも繋がっています。

最高の思い出をプレゼントしたい

シニアファッションショー実行委員長 溝部あや

新型コロナウイルスの感染対策強化のもと、規模を縮小し第二回目となるシニアファッションショー・養力コレクションを開催しました。

前回開催と異なり、衣装制作業者様とのやり取りは、オンラインへ切り替わり、素人の私が衣装担当となつたため各事業所でご利用者へ着付けの練習をさせて頂きました。

地域での新型コロナウイルス感染状況は改善と悪化を繰り返し、私の気持ちも上がった下がったり、悲観的に考え込むこともありました。

そんな時、ある実行委員の「ショーは縮小してもクオリティを落とさたくない」という言葉に大きく背中を押され、『不安なのは皆同じ、出来る対策は全部やって前に進もう！』とショーの成功だけをイメージして突き進む事を決めました。

不安の多い状況下で、参加を快く了承して下さいたご利用者、ご家族への感謝は一言では言い表す事がで

きません。

ショー本番、華やかな舞台と照明で衣装は輝きを増し、関係職員の見守る中でレッドカーペットを一步一歩踏みしめるモデルご利用者の人生の重みを全身で感じました。

一人一人の異なる想いも乗せ、職員とご利用者が一丸となった養力コレクションは大成を納めました。

これからもマネジメントは続きます。清華苑の今後の取り組みどうぞお楽しみにしてください！





INFORMATION

清華苑は、シトラスリボンプロジェクトに賛同しています！

新型コロナによる誹謗中傷や偏見、差別をなくそうと愛媛県の市民グループにより始まったシトラスリボンプロジェクト。地域、家庭、学校や職場を現す3つの輪を結び、感染者や医療従事者、それぞれが戻る場所で「ただいま」「おかえり」と言い合える気持ちを共有したい。シトラスリボンには、そんな願いがこめられ全国に広がっています。

ウイルスによって、人と人、人と社会が分断されるのではなく、今まで以上に結束を深め、心をひとつに。清華苑もシトラスリボンプロジェクトに賛同し、エッセンシャルワーカーの一員としてその活動を応援する事になりました。

令和2年11月にケアハウス 清華苑シルバーライフでは、ご利用者に呼びかけを行い、最初のワークショップを行いました。この日、参加されたご利用者は7名。まずは、シトラスリボンプロジェクトの主旨を説明し、ご理解頂いた上で想いを共有しリボン作りの作業開始に移りました。スタッフもこの日の為にリボンの結び方を何回も練習して当日のレクチャーに望みました。

参加された方は、最初は「こんなでできるかな」と言いつつも、何回か実践を繰り返すうちに結べるようになられました。完成すると自然と笑みがこぼれ、同じ作業にみんなで想いを寄せて取り組む事はとても楽しく有意義な時間となりました。

その後もシトラスリボンプロジェクトは、月1回の頻度で継続的にいき、たくさんのリボンを作りました。そこで、当法人と以前から交流がある高丘中学校の3年生へ卒業記念として150個のリボンをプレゼントさせて頂きました。学校の先生から大変喜んで頂き、地域へこの活動を広める事が出来て、ご利用者もわたし達職員も社会的活動に貢献する事ができて、嬉しく思いました。

この取り組みは、神戸新聞にも取り上げて頂き掲載されました。たとえコロナに感染したとしても「ただいま」「おかえり」とみんなが言い合える気持ちになれるよう、これからもシトラスリボンプロジェクトを続けていきたいと思っています。

(ケアハウス 清華苑シルバーライフ

生活相談員 村上卓也)



毎年、法人合同忘年会の場で各種職員表彰を発表していましたが、昨年度はコロナ禍のため、法人合同忘年会が中止となり全体の場での表彰式を行う事は出来ませんでした。そこで後日、表彰対象者のみ法人本部に招きサプライズ表彰式を執り行いました。その時の様子は、YouTubeの清華苑チャンネルにアップしていますのでどうぞご覧ください！

資格取得者

社会福祉士
北野里奈

介護福祉士
安達莉奈

田中大樹
田中優衣
杉本茉耶
定本勇紀
兵頭芽生
戸野祐希
柏田朝花

研修報告表彰

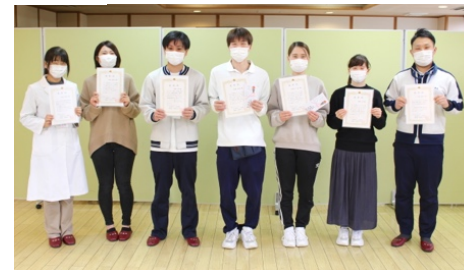
酒井涉

法人発展貢献賞

中本麻世
久保田千里
駒澤和希
橋爪涼
中本裕大
内匠好美



「頑張った職員へサプライズで表彰式をしてみた！」



永年勤続表彰

勤続20年表彰
藤井紀代子

瀬合和美
長村あけみ
長井和子

勤続10年表彰
前川真弓

川口琴音
眞野優子
飯貝和成
野々上夕子
竹中加奈子
平田詩央里

新入職員



今年度は、法人全体で14名の新人職員が入職しました。4月1日に入社式が執り行われ、清華苑の桜の木の下で集合写真を撮りました。3日間の集合研修を受け、現在は各施設でOJT研修中です。みんなファイト！